

にしやす通信



INFORMATION

☆ライフプランにお変わりはありますか？
生活に変化がありましたら、ぜひお知らせください☆

ライフプランが変化すると必要な保障内容もまた変化します。

大切なご家族を守るためにも、定期的にライフプランの確認をしましょう！

- ◆ご家族の構成の変化(お子さまが誕生した・ご両親と同居をはじめた など)
- ◆お子さまの成長(教育プランに変更があった・お子さまが独立した など)
- ◆お住まい(マイホームの購入を検討中・転居された など)
- ◆環境の変化(収入面に大きな変化があった・転職を検討中 など)
- ◆その他(ご自身、ご両親さまの介護が心配・相続対策を考えたい など)

その他、近況などお伝えいただけると嬉しく思います！お気軽にご連絡ください！



2017年11月号

11月のコラム



SL17-1270-0000

ソニー生命保険株式会社
 京都ライフプランナーセンター 第1支社
 〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20
 四条烏丸F Tスクエア7F
 tel 075-201-3001 fax 075-212-8551 携帯 090-8299-0066
 ライフプランナー 西保 高友
 takatomo_nishiyasu@sonylife.co.jp
 URL:<https://cs.sonylife.co.jp/L8F8B0>

近況報告

今年も残すところ2ヶ月となりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。
 この秋はなぜか出張が多く、東京・福岡・札幌等々よく移動していました。
 その際、出張先の方に必ず言われるのが

「京都っていいですね。紅葉がきれいだからぜひ行きたいんです。」
 という言葉。京都の秋、本当に素敵です(*^_^*) でも、住んでいる人間からすると・・・「道路が混むな～」「駅も人でごった返すな～」と、ネガティブな思いがあるのも正直なところ。

それでも、せつかく京都に住んでいるので、「良い面をもっと味わおうかな」という風に思いました。お声かけ頂いた皆さま、ありがとうございます。
 今回も「にしやす通信」お付き合いください。



生活の豆知識 「電車での居眠りは日本人だけのもの!？」

新幹線や電車に乗る機会が多いので、移動時間を利用して読書をしようとしているのですが、居眠りのせいではなかなか読書が進みません(笑)。いつも2～3ページ位を読んだところで、ウトウトしてしまいます。これには新幹線や電車の独特の揺れ(1/f)が影響していることが、大学の研究で分かったそうです。

路線によって【振動幅に違い】があり、心地よい振動幅(1/f)があるかないかで、眠っている人が多い路線と、そうでない路線があるのだそうです。面白いですね。



ところで、海外では「公共の乗り物での居眠りは違法」であることをご存じでしたか？ ロンドンでは、バス内での居眠りは違法行為。アメリカのウエストバージニア州でも、列車に乗っている時の居眠りは禁止です。ニューヨーク市では、地下鉄での居眠りは違法行為で、さらに公共の乗り物内で携帯プレーヤーからの音漏れは“70ドル～175ドルの罰金”なのだそうです…。言われてみると、欧米人旅行者の方々には、イヤホンではなく大きなヘッドホンをしてますよね…。(驚)。

海外で公共の乗り物に乗る時は「寝ちゃダメ!」ってことなのですが、欧米でのこうした罰則や禁止には、それなりの理由があるようです。“失礼にあたる(行儀が悪い)”という理由もあるようですが、居眠りが「犯罪を誘発してしまう」というのが、一番の理由のようです。電車やバス内で居眠りしてしまうと、持ち物全てを盗まれてしまうことも珍しくないそうです。それを考えると、無防備に居眠り出来る日本はそれだけ安全な国ということなのでしょうね…。日本に生まれ育って良かったと、「居眠り」から再確認することが出来ました(笑)。

豊かに生きるために 「正解のない鑑賞法」

うつむいて座る男性の彫刻、ロダンの「考える人」は、実は「見ている人」だったという裏話があるそうです。皆さん知ってました？私は今回初めて知りました(驚)

この像は元々「地獄の門」という作品の一部だったもので、眼下に広がる地獄をのぞき込んでいる姿なのです。「考える人」はこの門を構成する群像の一つとして別に造られたもので、「考える人」と命名したのは鑄造家だと言われます。これは鑄造家の解釈違いが原因だったという話です。



しかし近年、見る側の自由に任せる鑑賞法が注目されています。たとえば子どもに、美術作品についての知識を教え込むのではなく、「ここはどういう場所だと思う？」などの質問を重ね、子どもが作品を観た時の感想を重視して想像力を働かせるというも

のです。「対話型鑑賞」と呼ばれ、子どもの思考や対話能力の向上が期待されている美術鑑賞法のひとつです。文化の日がある11月には、美術館や博物館が無料開放されたり、イベントが行われたりします。鑑賞者の数だけその作品の見方や解釈が増えれば、芸術の秋もその分だけ一層深まりと広がりが増しそうです。

お客様WEBサービスのご案内

お客さまWEBサービスとは？

ご契約内容の確認・各種お手続き

健康・医療やマネーの情報提供

健康相談デスク(無料電話相談)

ご利用には会員登録が必要です。
ソニー生命の公式ホームページからご登録ください。

★★★ 新規登録キャンペーン実施中 ★★★

期間: 2017年10月1日～2018年3月31日

対象: ソニー生命のご契約者のうち ※法人契約・集団扱のご契約者を除く

- 〈お客さまWEBサービス〉に新規登録された方
- 〈ご家族情報登録制度〉にご家族を登録された方

◆選べるプレゼントキャンペーン◆

新規登録いただいた方の中から抽選で毎月30名さまにプレゼント!

所定の電化製品の中からお希望の商品をお選びいただけます。下記の商品以外もご用意しておりますので、キャンペーンについて詳しくはホームページをご覧ください。

ソニー
デジタル
スチルカメラ



ダイソン
ハンディクリーナー



BALMUDA
The Toaster &
The Pot



※当選者へは当社からご連絡いたします。ご希望の商品をひとつお選びください。※登録いただくと自動的に抽選の対象となります(登録の翌月が抽選の対象)。※抽選の対象となるのはお一人様1回限りとさせていただきます。※キャンペーンの内容・商品は予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

登録無料

じいちゃんとばあちゃんは2人で暮らしてた。
ばあちゃんはボケが進んでた。じいちゃんが介護してた。
いろいろ大変だったみたいだけど、会話はできているようで、
人が思うほど大変じゃないよって言った。

ばあちゃんの家に行くと、いろんな事が紙に書かれている。

「冷蔵庫は閉めましょう」
「電気は消しましょう」
「トイレは←」
「ふく、くつした↓」



とか、いろんな字がじいちゃんの手で半紙に筆で書かれていた。
書いてあれば守ってくれるんだって。

じいちゃんはいつも一緒にいてあげたけど、どうしても区役所とか病院に薬をもらいにとか出かける事がある。
心配だけ「外には出ないこと」と玄関に書いておけば、大人しく待っていてくれたんだって。

ある日、じいちゃんが出かけた。もちろん玄関には「外には出ないこと」。
それなのに、じいちゃんが戻ってきたら、ばあちゃんは家のすぐ前で車に轢かれてしまっていた。
救急車で運ばれた。

じいちゃんが駆けつけると、待っていたかのように、じいちゃんの手を強く握って天国へ行った。
じいちゃんはとても悔やんだ。家族全員も悔しかった。
今まで書いてあることは必ず守ってたのになぜ家を出たんだろう。

家族同然の付き合いをしていた隣のおばちゃんが話をしてくれた。
事故の直前、急に雨が降ってきた。
おばちゃんは布団を取り込みに庭に出た。すると、ばあちゃんが傘を持って慌てて道路に出てきた。
ばあちゃんの病気をばあちゃんは知ってたから、
心配になって、ばあちゃんの方へ向かったその時に事故が。

じいちゃんが勤めていた頃、ばあちゃんは雨が降ると必ず駅までじいちゃんを迎えに行ってた。
ちょっとでも雨が降ると必ず迎えに行ってた。
雨を見て、じいちゃんが家に居なくて、傘を持っていこうとしたのだろう。

それだけ、じいちゃんが好きだった。
じいちゃんもばあちゃんが好きだった。
じいちゃんもしばらくして病気で天国へ行った。
ばあちゃんが持っていた傘と一緒に墓に眠っている。
じいちゃん、ばあちゃん達は幸せだったんだろうな。

(終わり)



為替相場に大きな影響を与える個人投資家があります。
その名は「ミセスワタナベ」!

ミセスワタナベは、日本の個人投資家を表す言葉として、
イギリスの経済紙「エコノミスト」(1997年3月27日号)で初めて使われました。

ミセスワタナベが有名になったのは、2005年～2007年頃のこと。日本の為替市場で、
午前中は円高方向に向かっていたものが、10時位からどうも円安に戻ってくる。しかも
これといって相場を反転させるそれらしい情報もないのに……。このような状況が頻繁に起こり、国内外のディーラー、マスコミ
の間で非常に不可解な現象として有名になっていました。

この原因を探っていくと、朝の家事を終えた主婦が空いた時間を利用して、円高時に円売り・ドル買いの注文をしていたという
ことがわかったのです。さすがに専門家やディーラーも、日本の主婦が為替相場を左右するほどの影響力を持っているとは
想像もつかなかったようです。この現象は、やがて世界中に伝わり、日本のFX個人投資家群(特に主婦の投資家など)を指す
「ミセス・ワタナベ」という呼び名が生まれたのです。

なぜ主婦がそんな影響力をもっているのか?

諸説ありますが、海外に比べて日本は妻が家計を管理する割合高いからと言われていています。日本の資産に占める預貯金の
割合は51.5%(米国13.4%、ユーロエリア33.2% ※)。金額ベースでは1,809兆円のうち約930兆円が預貯金。これを妻(主婦)が
握っているのです。預貯金の一部でも為替市場に流れ込むとインパクトは大きそうですね。そして、やはり家計のことは女性が
キーなんですね!

ちなみに、今、注目されているのが「ミセスリー」。
今年に入り、中国でも個人の投資規制を緩和する動きが出始めています。もし、約14億人もの人口を抱える中国で規制が緩和
されたら、ミセスワタナベ以上に市場を短期的に動かす勢力になりそうです。これからは今までよりも長期的な視点で外貨
を持つことが大切になりますね。

※出典: 日本銀行「資金循環の日米欧比較」

編集後記

少し前から、会社の仲間と一緒にダイエットをしています。
正直、1人でやるとまったく続かないのですが、何人かですることではけん制
し合うので、効果がありますね。実際に会社で計って記録にとっているの
で、増減が一目瞭然です。

私はなぜか毎年夏場に太ってしまうので、現在は少しだけ(3~4kg程
度ですが...)やせました。それでも体の疲労感が全然違いますね(^)。見た
目だけでなく普段の暮らしも、やはり痩せている方がいいなと実感する
ようになってきたので、もう少し頑張ろうと思います。

成果がでたり、周りに褒められるとやる気が出るタイプですので、見かけ
た時には「やせましたね。」と一声頂けるとさらに頑張れます。宜しくお願い
します(笑)



ソニー生命 西保

検索



<http://www.nishiyasu.net>

西保 高友

SL17-1270-0000